

- 1 教育事業名 「ファミリーキャンプ in とかしき」
- 2 ね ら い 渡嘉敷島の豊かな自然の中で、家族で様々なアクティビティに取り組むことで親子の絆を深めるとともに、子ども達に「体験」の機会を提供する。
- 3 期 日 令和6年11月9日（土）～11月10日（日）
- 4 場 所 国立沖縄青少年交流の家本館及び海洋研修場
- 5 募集定員 幼児（4歳以上）・小中学生とご家族
- 6 参加人数 27名
- 7 参加者内訳 未就学児3名、小学生9名、中学生2名、大人13名
- 8 実施プログラム

1日目	2日目
9:00 フェリーとかしき乗船	6:00 起床
10:00 泊港から渡嘉敷港へ	7:40 朝食
11:10 受付	8:30 清掃
11:30 海洋研修場へ移動	9:30 海洋研修場へ移動
12:00 昼食（弁当持参）	10:00 クラフト
13:00 オープニング・オリエンテーション	11:00 野外炊事（カレー作り）
13:30 マリン活動	12:00 昼食
16:00 交流の家本館へ移動	13:00 片付け・ファミリータイム
17:30 夕食	14:00 エンディング・移動
18:00 入浴	14:30 フェリーとかしき乗船
19:00 ファミリータイム （スポーツ・星空観察など）	15:30 渡嘉敷港から泊港へ
22:00 就寝	

9 事業の様子



大型カヌー



カヤック



水泳



夕べのつどいの様子



クラフト



野外炊事

10 エピソード（参加者の声）

① 「海洋研修」について

- ・カヤックや大型カヌーなど体験できないことが体験できて貴重な体験になりました。
- ・カヤックが楽しかった。もっと時間が欲しい。
- ・前回乗れなかった大型カヌーにも乗れてハッピー

② 「クラフト」について

- ・皆それぞれがフォトフレームを好きなように作れた。
- ・みんなが作成したのを見る時間があってよかった。
- ・子どもたちがキラキラしていた。

③ 「野外炊事」について

- ・火起こしの火をつけるところから経験できたのは貴重な経験でした。
- ・家族同士の交流もあって楽しかった。
- ・もう少し時間に余裕がほしかったです。

④ その他

- ・星空観察に家族だけでは怖かったので一緒にいけたらよかったなと思いました。
- ・もっとたくさん泊まりたい。

11 事業の成果

(1) 成果

- ・広報の方法について紙媒体でチラシを配布するのではなく、メールでのイベント告知や SNS、一般社団法人沖縄県 PTA 連合会への掲載依頼等で募集した。リピーターの方や新規の応募があるなど、新しい募集の方法を発見できた。
- ・事業直前まで天候がすぐれなかったが事業中は晴天に恵まれ、アンケートの全体の満足度も「満足」87.5%、「やや満足」12.5%だった。天候を含め渡嘉敷島の自然を満喫してもらうことができた。

(2) 課題

- ・応募期間内に応募数が募集人数を超え、早めに募集を締め切った。家族対象ということで需要が高まっている中、希望者全員に体験を提供できるようにするにはどうしたらいいか検討が必要である。また、キャンセルが多かったため、募集人数から大幅に減った参加人数での実施となった。今後はキャンセルが少なくなるような工夫が必要である。
- ・家族・家族間の交流を深めるために夜にゆとり時間を多くとったが、その分保護者が子ども達へ目が離せず、保護者のゆとり時間が少なかったという意見があった。事前に子どもだけで安心安全で遊べるプログラムを考え、保護者間で交流できる時間を設けることを検討したい。